

## 編集後記

今号は、国文学専攻創設五十周年・国文学会設立四十周年を記念して編んだ特集号である。前回の四十周年の記念号の三十編を大きく超え、集まった原稿は総数四十一編に上る大冊となった。編集部から依頼した分の他に院生や卒業生会員からの投稿分も多く集まり、内容も古代から近代までの文学研究、国語教育、日本語研究の各分野に及んでいる。中でも近代文学は小特集の企画などがあり、若手の研究者の投稿も目立った。一方、上代・中古・中世・近世・国語教育・日本語研究はまんべんなく集まったが、若手の投稿が少なかったのはやや残念であった。しかし、集まった原稿は実証的で手堅いものばかりであり、半世紀の中で培った同志社の学問の伝統が確実に熟成し具現化された論集になったと言えるだろう

さて、来年度は文学部が改組され、国文学専攻は国文学科として新たなスタートを切ることになる。このような転換点において、昨年から着任された中古の岩坪健教授、近世文学の神谷勝広助教授、今年度から着任された近代文学の西川貴子専任講師ら、新しいスタッフにも加わっていただくことができた。昨今の大学の組織統合などで専攻名として国文学という名称もいまや少なくなってきたが、そのような中で教員スタッフが増員され、専門性を高めた学科に昇格できることは望外の幸せであるといわねばならない。今後も『同

志社国文学』を基軸として新たな地平を開いていかねばならない。十年後の六十周年の記念号ではどのような論集ができるか楽しみにしたいと思う。  
(藤井 記)

編集委員 編集長 藤井俊博

石井久雄

大島中正

真銅正宏

山田和人

吉野政治